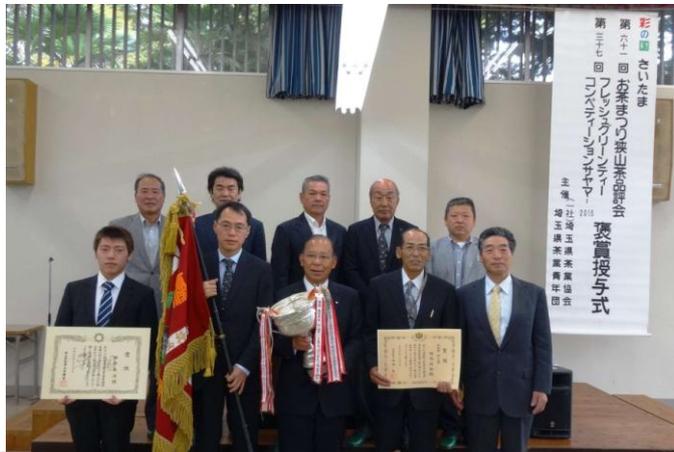


地域振興賞受賞

埼玉県茶業協会主催の「彩の国さいたま第61回お茶まつり狭山茶品評会」で、所沢市が「地域振興賞」を受賞しました。これは「産地賞」とも呼ばれ、彩の国さいたま第61回お茶まつり狭山茶品評会での成績が優秀であった市町に対し授与されるものです。市内の多くの茶生産農家及び関係者が協力し、よい成績を収めたことで受賞につながりました！

平成27年10月23日に埼玉県茶業研究所(入間市)で行われた褒賞授与式にて、関隆治会長が「地域振興賞旗」を受け取りました。

春の訪れとともに4月28日(木)に「ところざわ新茶まつり」(詳細は、市HP・広報ところざわに掲載します)を予定しておりますので、この機会に所沢市の「スゴ腕! 狭山茶生産農家」のお茶を味わいにお立ち寄り下さい。



休耕地の土埃について

市民の皆様から「作物を栽培していない畑(休耕地)からの土埃で困っている」とのお問い合わせが寄せられています。そこで、休耕地が必要な理由と土埃対策を紹介させていただきます。

なぜ、休耕地が必要なのか

美味しい野菜を育ててくれる畑にも休息が必要であり、休みを取らずに栽培を続けていると品質の良い野菜ができなくなる場合があります。そのため、生産者の方々は畑を休ませる休耕期を設けることで美味しい作物を生産し続けています。つまり、休耕地は皆様の食卓に新鮮で美味しい野菜を届けるために必要なこととなります。

生産者の方々による土埃対策

- かん水施設(井戸など)を使用して休耕地に水を撒いています。
- 緑肥(畑の肥料にすることができる植物)を栽培しています。
(土が露出しなくなるので、土埃が減少します)

ご理解のお願い

皆様の中には休耕地からの土埃でお困りの方もいるかと存じますが、質の良い野菜を生産していくために休耕地は必要であり、生産者の方々も対策等、努力をされていますので、ぜひご理解をお願い致します。



ご理解の程、
お願い申し上げます